

『定住推進』視察報告(平成 27 年 3 月 11 日)

総務部会

場所：豊田郡 大崎上島町(22 人参加)

2003 年 4 月 1 日に、東野町、大崎町、木江町が合併し全島が一町となった。

1970 年当時は 17,800 人の人口が、減少の一途をたどり、また、合併後 10 年で人口が 2,000 人減少するなど、現在は 4,300 世帯 8,000 人の町となっている。

町内には、国立広島商船高専や中国電力大崎火力発電所、東邦亜鉛契島製錬所などがあり、竹原、安芸津からのフェリーで約 30 分の芸予諸島の中程に位置する。

造船業が盛んで、島内浦々に造船所がある。また、みかん、レモン、ブルーベリーの栽培に力を注いでいる。

木江にある、厳島神社は畿内より木江に遷宮されたのち、宮島へ遷宮されたものである。

人口の減少に伴い、空き家バンク制度を設け登録を呼びかける。

- ① 固定資産税の納付書を送付する時、町外の方に「空き家バンクの募集チラシ」を同封
- ② インターネットで細かい情報を提供(売買・賃貸の価格/間どり/写真等々)
- ③ 定住者が『定住アドバイザー(3 人)』として町の生活に関する生活情報や相談、地域の紹介や仲介などの支援を行っています。



M さん(左の方)、東京都出身で、インターネットで魅力に取りつかれ移住。元警察官・白バイ隊員でアンテナショップ & カフェを経営し新しい風を吹き込んでいる。
(アドバイザーとして活躍中)

T さん(マイクを持った方)、Uターンで郷里に帰り、塾の講師をしながら、島の将来を見据えた活動をする郷土愛に燃える青年。(アドバイザーとして活躍中)

I さん(右の方)、一寸したきっかけで大阪から移住。テレビ朝日『人生の楽園』で取材を受け放映をされたことに伴い、相談件数がいきなり倍々増した。
「移住者交流会」を主宰。(アドバイザーとして活躍中)

非常に豊かな個性をもった方々が場面に対応して、相談アドバイス、情報発信を行っている。

町のホームページもきめ細かく空き家情報を掲載しており、効果を発揮しており、3 年間で 100 人(50%の方が購入)の方々が移住してこられた。

《海》には魅力が ? !

今の時代改めて、
インターネットによる
情報発信の偉大さを
痛感しました。



定住促進用住宅
トライアルハウス大串
1号棟(西)/2号棟(東)
●問合せ先 大崎上島町企画振興課
☎0846-65-3112

